

10月11日
**サギに気をつけてね
 園児たちから特殊詐欺被害防止イラストを贈呈**



イラストしつかり手渡し
 弟子屈警察署で10月11日、管内園児たちからの特殊詐欺被害等防止に活用するイラストの贈呈式が行われました。弟子屈警察署では、特殊詐欺被害などを防止するため、警察署管内の幼稚園、こども園などにイラストの提供をお願いします。今回は、認定こども園ましゅうの園児33人と、標茶町立標茶幼稚園の園児15人から合計48点のイラストの提供を受けました。園児を代表し、認定こども園のぞう組、小泉慧人さんと和田唯楓ちゃんがイラストを警察署長らに手渡しました。このイラストは、被害防止の啓発に使われるポケットティッシュなどに同封されます。

10月6日
**懐かしいふるさとの思い出に花が咲く
 東京で第31回弟子屈ふる里会総会を開催**



大下さんからの説明も
 首都圏に住む本町出身者やゆかりのある方々でつくる弟子屈ふる里会(平下覚会長)の第31回総会・ふる里まつりが10月6日、東海大学校友会館(東京都千代田区)で行われました。同会には160人の会員が所属し、年に1度総会を開催。当日は30人が参加し、思い出話で盛り上がりました。本町からも吉備津副町長や近江屋副議長らが出席し、副町長からは現在の町政を報告。また、総会には、大相撲の錦絵師 大下大門さんから昭和の大横綱大鵬の孫である納谷幸之助さんの昇進時に寄贈予定の化粧まわしのデザインなどの説明もされました。

9月14～16日
**英語に親しむ3日間
 令和元年度弟子屈町イングリッシュキャンプ**



英語を楽しむ学ぶ
 町教育委員会と町教育研究所による令和元年度弟子屈町イングリッシュキャンプが9月14日～16日の3日間にわたって玉川大学北海道弟子屈農場美留和「晴耕塾」で行われました。平成27年に締結された学校法人玉川学園との包括連携協定に基づき行われているもので昨年に続き3回目。今年は小中高校生33人と、町内の小中高校の英語科担当の教員、町教委ALT、玉川大学からも工藤准教授と学生が講師として参加。英語に親しむ体験的な活動を通して、英語による表現力と積極的なコミュニケーションの向上を図ることができました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。
 まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月14日
**全道吟詩・剣詩舞大会 合舞コンクールA
 聖月流川湯支部の皆さんが3位入賞**



賞状とトロフィーを手に笑顔
 聖月流川湯支部(松谷幹子支部長)の皆さんが、9月22日に行われた全道吟詩・剣詩舞大会で、3位入賞を果たしました。大会は、大人も混じって行われる中、聖月流川湯支部の皆さんは、小・中・高校生だけで演舞。16組中3位に入賞するすばらしい結果となりました。支部に所属する弟子屈中学校3年の金川眞子さんは「先生方の指導のおかげで入賞することができた。とてもうれしい」と笑顔で話していました。

10月12日
**未来に繋がる森づくり
 シーニックバイウエイが植樹祭を開催**



蒸留するため枝を細かく
 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ(桐木茂雄代表)が10月12日、そららの森(弟子屈飛行場跡地)で植樹祭を行いました。この取り組みはドライブ観光などで排出されるCO₂を吸収する「カーボン・オフセット」の森づくり活動の一環として行っているもので町内外から50人が参加。ハルニレ・ミズナラ・アカエゾマツなどの苗木約300本を協力し合いながら植樹しました。また今回は、木育教室「森の学校」も行われ、木育マスターの酒巻美子さんによるアカエゾマツの蒸留体験も開催。会場は木のさわやかな香りに包まれていました。

9月25日
**てしかがの未来の中心市街地づくり
 第3回中心市街地再構築全体構想町民会議を開催**



さまざまな意見が
 中心市街地再構築全体構想町民会議(今井慎也委員長)の第3回会議が9月25日、町公民館で開催されました。同会議では7月に実施された町民アンケートの結果から、中心市街地の整備に優先する視点は「町民が集まる場所」「将来に負担を残さない」が多かった事、整備されるのが望ましい施設としては「入浴施設」が特に多かった事などを報告。町からは公共施設の現状について説明が行われました。その後のワークショップでは「町民が居心地の良い場所とは」などをテーマに、意見交換が行われました。

9月22日
**ばん馬の迫力に歓声が
 摩周湖ばん馬大会を開催**



力強い手綱さばきで
 第11回摩周湖ばん馬大会が摩周湖馬友の会主催(近江屋茂会長)で9月22日、摩周馬場を会場に開催されました。ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催され、多くの来場者でにぎわいました。今年も道内各地からばん馬が集まり、馬齢や重量別の階級に分かれて白熱のレースを展開。フォトコンテストでは、大勢の写真愛好家がカメラを構えていました。そのほかにも、馬車への乗車や、ふれあいコーナーや抽選会などのイベントも行われ、来場者の皆さんは思い思いに大会を楽しみました。

10月21日
**将来の運転者としての心構えを学ぶ
 弟子屈高校で交通安全講習を開催**



車の死角を車に乗って体験
 弟子屈高校(宮崎円校長)で10月21日、秋の交通安全講習が行われました。この講習は毎年、愛国自動車学校(釧路市)から講師が招かれ、近い将来に運転者となる高校3年生を対象に、交通事故防止について講演とさまざまな体験が行われています。特殊な眼鏡を装着して飲酒運転の疑似体験、動体視力の測定や見通しの悪い交差点での体験乗車など、歩行者としてだけでなく、運転者としての交通安全の大切さを学びました。

10月20日
**日頃の消防活動の成果を披露
 弟子屈・川湯秋季合同演習を実施**



徳永組会長町長による観閲
 釧路北部消防事務組合・弟子屈消防団・川湯消防団・弟子屈消防署の主催による弟子屈・川湯秋季合同演習が10月20日、弟子屈消防署で行われました。秋の火災多発期を前に、消防職員団の消防活動技術の充実強化、地域住民に対する消防力の披露、防火意識の高揚を目的に行われているもの。予定されていた演習は天候不良などにより中止されたものの、観閲式、分列行進では、見事な行進が行われました。また、参加した弟子屈消防団が、先日行われた北海道消防操法訓練大会で準優勝、川湯消防団が釧路管内消防団員技能競技大会で3位になるなど、めざましい活躍をしています。

10月1～4日
**木に親しむ4日間
 2019弟子屈町木育週間を開催**



木のふりくで笑顔に
 町では木育への取り組みの一環として、2019弟子屈町木育週間を10月1～4日、林業多目的センターで開催。木育は北海道生まれの取り組みで、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動。森林に囲まれ共生してきた本町にとって大切な取り組みです。期間中は木のおもちゃや、森や木工などに関する本などを用意し一般開放。木馬や木のシーソー、積み木などに、訪れた親子連れや保育園児らが歓声を上げていました。

9月30日
**地域の駅をキレイに
 美留和小児童が美留和駅舎をペイント**



完成した駅舎の前で記念写真
 JR美留和駅で9月30日、美留和小学校の児童7人が、PTAや自治会の協力で、駅舎にペイントを行いました。このペイントは、地域の鉄道を大切にしたいとの思いから行われたもの。児童の考えたデザインは美留和の自然をイメージしていて、フクロウやタンチョウヅル・草花などが描かれ、楽しみながらも時に真剣な表情で作業に取り組みました。ペイントの前には、JR北海道釧路支社萩原支社長から、日頃の駅舎の清掃と環境美化活動の取り組みについて感謝状が贈られました。